

整理番号	常幹（臨時）
記 録 者	佐澤和人

臨時常任幹事会 議事録

日 時	2024 年 6 月 3 日（月） 10:30~11:30	場 所	ウェブ会議（Microsoft Teams）
出席者	倉光英樹, 巽広輔, 片野肇, 高田主岳, 佐澤和人, 高橋史樹, 植松宏平, 石田康行, 加賀谷重浩, 北川慎也, 西山嘉男, 山本拓平（計 12 名） （メール審議：間中淳, 太田一徳, 甲斐穂高, 栗原誠, 村上博哉, 湯川博）		
議 事	1. 中部化学関係学協会支部連合秋季大会での分析化学部門褒賞について議論した。 第 1 回常任幹事会で議論を行い継続審議としていた、「中部化学関係学協会支部連合秋季大会での分析化学部門褒賞」について、日本化学会東海支部長より、これまで賞を出してこなかった物理化学・無機化学や分析化学分野にも褒賞（発表賞）を設けることを検討してもらいたいという依頼があり、本年度の実施の可否と審査方法について議論する必要が生じたため臨時常任幹事会を開催した。 はじめに、審査方法について議論し、以下のように形式を決めた。 ①提出された要旨について常任幹事会のメンバー、または、参加予定の先生方で事前の書類審査を実施する。発表賞の審査対象に要旨が入っていることを参加者に事前に周知する。 ②学会当日、当会に参加する教員のなかから現地審査員を選出し、少なくとも 2～3 名の審査員が発表を審査する。審査結果は、1 日目、2 日目に分けて集計する。1 日目、2 日目で審査員が異なっても良い。 ③書類審査と現地審査を 3:7 の割合で評価し、受賞者を決定する。1 日目、2 日目でそれぞれ 1～2 件程度とする。賞状は後日郵送する。 次に、本年度の実施について採決をとった結果、出席者 12 名のうち賛成が過半数を超えた（賛成 7、反対 4、棄権 1）。ただし、本年度は試験的な実施であり、中化連の分析セッションの参加者が毎年少なく、公平な審査が難しいという問題が解決できない場合は、今後取りやめる可能性もあることを確認した。 審査員の選出や審査基準等については今後、メール審議を通して決めることとした。		